

2014年度 CTVCーカトリック東京ボランティアセンター 活動報告

1. 2014年度の動き

今年度も日本のカトリック教会の被災地支援「オールジャパン体制」のもと、主に宮城県南部と福島県全域での活動を継続した。

支援活動地として福島県福島市、白河市、南相馬市、会津若松市、宮城県亘理郡、での活動を継続した。被災地域や避難地域で自主的に支援活動を実施しているカトリック松木町教会、白河教会、原町教会、会津若松教会、亘理教会やNPO（きらきら星ネット、東京）などのグループと連携し、「ボラパック」（数日間のボランティア企画）やイベントの実施、物資支援などを実施した。また、山形県米沢市の自主避難者グループとの連携も始まり、イベントの実施や物資支援などを実施した。

南相馬市では「カリタス原町ベース」の運営を継続した。ボランティアを受け入れ、南相馬市鹿島区の社会福祉協議会と連携し、がれき撤去などのボランティア活動や地元の支援団体と連携し仮設住宅でのカフェサロンを実施した。また、社会福祉協議会より依頼され、仮設住宅の、主に独居世帯への見守り活動を職員とともにいった。

被災地全域のベースへの短期・長期ボランティアの募集・選考・派遣を行った。また仙台教区サポートセンターが主催する「全ベース会議」に参加、2012年から実施している「福島ブロック会議」へは参加グループとして参加を継続している。

特に福島においては、先の見えない避難生活の中で避難元に近い地域や避難先で家を求め退居する世帯もあり、入居者の数が徐々に減少し始めた。福島市の宮代仮設住宅では、通常の活動に加え、カトリック松木町教会が入居世帯全戸に「カリタス便り」を配布し、普段活動に参加されない世帯へも近況をお知らせするなどの活動を開始した。

白河市では入居者の転居による人数の減少や、避難生活の長期化ゆえに仮設住宅内の人間関係の難しさが表面化する中で、きめの細かい傾聴活動を継続している。

宮城県亘理町・山元町では、仮設住宅から復興支援住宅などに転居する世帯が増え、3月末をもって閉鎖する仮設住宅なども出てきた。

また、活動開始当初から行われていた学校やグループからの依頼による企画型ボラパックを、特に夏季に集中して実施してきたが、学校によっては研修の意味合いが濃く、現地のニーズに沿った活動をするため、見直しを行うこととなった。

また、今年度より山形県米沢市に自主避難している避難者グループ「ハート・ウェッジ福島」からの支援要請を受け、カトリック米沢教会と協力して支援活動を開始した。全国の支援者や地元米沢教会、山形教会による物資支援や子どもが思いきり遊べる交流の場の企画などの活動を行った。

一方、被災地以外の地域における被災地支援への意識は格段に低下しており、ボランティアの減少も深刻化した。「忘れない」を合言葉として掲げ、昨年度に引き続き、講演会シリーズ「福島から語る」の実施や「かわらばん」の配布、ホームページやフェイスブックの活用、東京教区ニュースでの連載などを通して情報提供・共有を図った。「福島から語る」の多言語による世界発信サイト「Voices from FUKUSHIMA!」では、日・英・仏・スペイン語により6名の体験とメッセージをインターネットで海外に向けて発信した。

2. 各地活動

(1) 宮城県南部

亶理町および山元町にて「ボラパック」を催行し、仮設住宅集会所や沿岸地域の集会所でカフェを開催した。亶理町公共ゾーン仮設住宅第1集会所では、3月から11月までの奇数月に訪問し、カフェやワークショップを行った。7月から9月には亶理町吉田「マイファーム宮城亶理農場」でトマトの収穫作業等に参加した。また、カトリック亶理教会、NPO 法人亶理いちごっこ、おてら災害ボランティアセンター、山元町震災復興土曜日の会と連携し、地域の活動やイベントに参加した。「チーム亶理」の会合に参加し、亶理町を支援するカトリック教会関係の団体との情報共有を行った。

<ボラパック>

ボラパック開催回数:11回

ボランティア総数:125名

- ・ **第20回ボラパック(公募型)**

日程:2014年5月9日~11日

場所:亶理町公共ゾーン仮設住宅第1集会所(5/10)

亶理町野地集落センター(5/11)

活動内容:カリタスカフェ開催

カフェ参加者数:29名(公共ゾーン第1集会所19名、野地集落センター10名)

ボランティア人数:3名(東京2名、原町1名)

- ・ **第21回ボラパック(企画型:目黒星美学園中学高等学校)**

日程:2014年7月29日~31日

場所:亶理町公共ゾーン仮設住宅第1集会所(7/31)

活動内容:せいびっこカフェ開催

カフェ参加者数:28名

ボランティア人数:19名

- ・ **第22回ボラパック(企画型:聖園女学院高等学校)**

日程:2014年8月9日~10日

場所:マイファーム亶理(8/9)

山元町みんなのとしょかん(8/10)

活動内容:トマトの収穫作業、書籍整理

ボランティア人数:12名

- ・ **第23回ボラパック(企画型:浦和明の星女子高等学校)**

日程:2014年8月18日~20日

場所:マイファーム亶理(8/19,20)

活動内容:トマト収穫作業

ボランティア人数:7名

- ・ **第24回ボラパック(企画型:横浜雙葉高等学校)**

日程:2014年8月20日~22日

場所:マイファーム亶理(8/21,22)

活動内容:トマトの収穫作業

ボランティア人数:8名

・ **第25回ボラパック(企画型:カリタス幼稚園・小学校教職員有志)**

日程:2014年8月24日~25日

場所:亶理町吉田地区交流センター(8/24)

マイファーム亶理(8/25)

活動内容:わたりカリタスカフェ開催、トマトの収穫作業

カフェ参加者数:15名

ボランティア人数:23名

・ **第26回ボラパック(企画型:白百合女子大学)**

日程:2014年9月2日~4日

場所:亶理町公共ゾーン仮設住宅第1集会所(9/3)

マイファーム亶理(9/4)

活動内容:インターナショナルカフェ開催、大根作付作業

カフェ参加者数:18名

ボランティア人数:12名

・ **第27回ボラパック(企画型:聖心女子大学)**

日程:2014年9月8日~9日

場所:マイファーム亶理(9/9)

活動内容:トマト収穫作業

ボランティア人数:9名(聖心女子大学4名、原町5名)

・ **第28回ボラパック(企画型:みこころグループ)**

日程:2014年9月13日~15日

場所:マイファーム亶理(9/14)

山元町じいたんドーム(9/15)

活動内容:トマト畑マルチ撤去作業、みこころカフェ開催

カフェ参加者数:25名

ボランティア人数:8名

・ **第29回ボラパック(企画型:CTVC)**

日程:2014年11月19日

場所:亶理町公共ゾーン仮設住宅第1集会所

活動内容:カリタスカフェ開催

カフェ参加者数:11名

ボランティア人数:0名(CTVCスタッフ11名)

・ **第30回ボラパック(企画型:目黒星美学園中学高等学校)**

日程:2015年3月27日~29日

場所:亶理町公共ゾーン仮設住宅第1集会所

活動内容:せいびっこカフェ開催

カフェ参加者数:13名

ボランティア人数:24名

<物資支援>

- ・ なし

<他団体との連携>

- ・ 2014年5月24日、チーム亙理 第2回会合開催。(亙理教会)
参加者:八木山教会オリーブの会(野田・竹内)、さいたま教区(澤野神父)、
亙理教会(ホセ神父・長嶋夫妻・清野・高田)、原町ベース(栗村)、
CTVC(山崎)、SDSC(小野寺神父・小松神父・Sr.長谷川)
- ・ 2014年5月24日、テラセン主催の植樹祭にスタッフ参加。(山元町笠野区)
- ・ 2014年11月2日、山元町青巢稲荷神社例大祭にスタッフ参加。(青巢稲荷神社)
- ・ 2014年11月18日、チーム亙理 第3回会合開催。(亙理教会)
参加者:八木山教会オリーブの会(野田)、さいたま教区(藤田神父、澤野神父)、
亙理教会(ホセ神父・長嶋夫妻・清野)、CTVC(漆原・辻・大久保・山崎)、
SDSC(Sr.長谷川、小野)
- ・ 2015年3月7日・8日、るるる Japan(テラセン連携団体)の山元町内仮設住宅集会所での足湯活動にスタッフ参加。(ナガワ団地、箱根団地)
- ・ 2015年3月11日、東日本大震災追悼ミサ、14時46分の黙禱に出席(亙理教会、荒浜地区)。
17時30分より山元町震災復興土曜日の会・テラセン主催の「追悼の竹灯ろう」に参加(JR常磐線旧山下駅、旧坂元駅)。
- ・ 山元町震災復興土曜日の会の会合に不定期に出席。(普門寺)

<その他>

- ・ 2014年6月25日、全国担当者会議視察 Aコースの山元町訪問プログラム調整。普門寺にて坂野住職、テラセン藤本センター長のお話、旧中浜小学校視察。
- ・ 2014年9月27日、宮代会(聖心女子大学同窓会)東北支部被災地訪問コーディネート、視察案内。参加者8名。
- ・ 2015年1月31日、CTVC講演会。テラセン藤本センター長の講演、分かち合い。

(2) 福島県福島市

2011年8月より、福島市カトリック松木町教会「愛の支援グループ」との協働のもと、浪江町から避難している福島市宮代仮設住宅にて活動を開始。宮代仮設住宅は現在44世帯。約70名が暮らす。その多くは65歳以上の高齢者であり、中には独居の高齢者が1割ほど居住している。2014年度は、福島市内や南相馬市、相馬市などに転出する入居者が増えるとともに、復興公営住宅の応募も開始され、それぞれに選択を迫られる一年となった。

本活動では、お抹茶と茶菓子を食べながらのお茶っこ「ふれあい茶の湯」を中心に毎月行われるお誕生会や、浪江で行っていたであろう年中行事をともに祝うイベントを中心に月2回の活動を継続して行った。

CTVCでは、2014年度も引き続き、宮代仮設住宅自治会及び愛の支援グループ・野田町教会と調整を行い、「ボラパック」としてボランティアや炊き出しチームを派遣、浪江盆踊り大会、温泉ツアーやクリスマス会、餅つき、お正月、初釜など季節のお祝い事などを中心にイベント

を実施。計 23 回のボラパックを実施した。

<ボラパック>

ボラパック開催回数：23 回

ボランティア総数：460 名（現地ボラ 342 名、CTVC203 名）

参加者（受益者）総数：726 名

・ **第 59 回ボラパック（お花見）**

日時：2014 年 4 月 11 日～12 日

場所：宮代仮設住宅

参加者数：23 名

ボランティア人数：現地ボラ 19 名、CTVC ボラ 11 名

・ **第 60 回ボラパック（ふれあい茶の湯）**

日時：2014 年 4 月 25 日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：17 名

ボランティア人数：現地ボラ 5 名、CTVC ボラ 8 名

・ **第 61 回ボラパック（ふれあい茶の湯）**

日時：2015 年 5 月 2 日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：20 名

ボランティア人数：現地ボラ 11 名、CTVC ボラ 3 名

・ **第 62 回ボラパック（ふれあいバザー）**

日時：2014 年 5 月 17 日～28 日

場所：宮代第一仮設住宅集会所前広場

参加者数：約 300 名

ボランティア人数：現地ボラ 25 名、CTVC ボラ 23 名

・ **第 63 回ボラパック（楽しい昼食会）**

日時：2014 年 6 月 13 日～14 日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：24 名

ボランティア人数：現地ボラ 12 名、CTVC12 名

・ **第 64 回ボラパック（ふれあい茶の湯）**

日時：2014 年 6 月 27 日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：14 名

ボランティア人数：現地ボラ 13 名、CTVC ボラ 6 名

・ **第 65 回ボラパック（ふれあい茶の湯）**

日時：2014 年 7 月 11 日 ※台風のため中止

場所：宮代第一仮設住宅集会所

・ **第 66 回ボラパック（そうめん祭）**

日時：2014年7月25日～26日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：23名

ボランティア人数：現地ボラ12名、CTVCボラ10名

・ **第67回ボラパック（夏祭り）**

日時：2014年8月8日～10日

場所：宮代第一仮設住宅集会所前広場

参加者数：約30名

ボランティア人数：現地ボラ15名、CTVCボラ11名

・ **第68回ボラパック（ふれあい茶の湯）**

日時：2014年8月29日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：13名

ボランティア人数：現地ボラ12名、CTVCボラ5名

・ **第69回ボラパック（ふれあい茶の湯）**

日時：2013年9月14日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：17名

ボランティア人数：現地ボラ8名、CTVCボラ1名

・ **第70回ボラパック（敬老会）**

日時：2014年9月19日～20日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：23名

ボランティア人数：現地ボラ18名、CTVCボラ6名

・ **第71回ボラパック（ふれあい茶の湯）**

日時：2014年10月3日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：15名

ボランティア人数：現地ボラ14名、CTVCボラ3名

・ **第72回ボラパック（体にやさしいすぐできそうな男料理）**

日時：2014年10月23日～24日

場所：宮代第一仮設住宅集会所前広場

参加者数：23名

ボランティア人数：現地ボラ10名、CTVCボラ4名

・ **第73回ボラパック（楽しい昼食会）**

日時：2014年11月7日～8日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：22名

ボランティア人数：現地ボラ10名、CTVCボラ8名

炊き出し隊：碑文谷教会17名

- ・ **第 74 回ボラパック（ふれあい茶の湯）**
 日時：2014 年 11 月 21 日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：13 名
 ボランティア人数：現地ボラ 13 名、CTVC ボラ 9 名
 江戸川ギターマンドリンクラブ：麻布教会 7 名
- ・ **第 75 回ボラパック（クリスマス会）**
 日時：2014 年 12 月 12 日～13 日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：23 名
 ボランティア人数：現地ボラ 34 名、CTVC ボラ 8 名
- ・ **第 76 回ボラパック（餅つき大会）**
 日時：2014 年 12 月 26 日～27 日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所前広場
 参加者数：20 名
 ボランティア人数：現地ボラ 25 名、CTVC ボラ 9 名
- ・ 山口からのボランティア 5 名 **第 77 回ボラパック（日帰り温泉）**
 日時：2015 年 1 月 9 日～10 日
 場所：飯坂温泉「大鳥」
 参加者数：21 名
 ボランティア人数：現地ボラ 12 名、CTVC ボラ 44 名
- ・ **第 78 回ボラパック（初釜）**
 日時：2015 年 1 月 23 日～1 月 24 日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：16 名
 ボランティア人数：現地ボラ 22 名、CTVC ボラ 4 名
- ・ **第 79 回ボラパック（旧正月）**
 日時：2015 年 2 月 6 日～7 日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：23 名
 ボランティア人数：現地ボラ 7 名、CTVC ボラ 2 名
 炊き出し隊：雪ノ下教会：14 名
- ・ **第 80 回ボラパック（シスター達とお遊び）**
 日時：2015 年 2 月 20 日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：13 名
 ボランティア人数：現地ボラ 21 名、CTVC ボラ 1 名
- ・ **第 81 回ボラパック（ひな祭り）**
 日時：2015 年 3 月 6 日～7 日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：18名

ボランティア人数：現地ボラ19名、CTVCボラ3名

炊き出し隊：ヌヴェール愛徳修道会・松原教会9名

・ **第82回ボラパック（ふれあい茶の湯）**

日時：2015年3月30日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：15名

ボランティア人数：現地ボラ5名、CTVCボラ5名

(3) 福島県白河市

2011年9月より、白河市カトリック白河教会の信徒を含む傾聴グループ「白河・みみずく」との協働のもと、白河市内にある中田グラウンド仮設住宅、郭内仮設住宅にて活動を開始。中田グラウンド仮設住宅は、白河市、南相馬市、浪江町など各地からの避難者が混在する仮設住宅。また郭内仮設住宅は、双葉町からの避難者が入居する。みみずくでは、2011年8月よりこれら二つの仮設住宅にて週一回の傾聴訪問を主活動とし、イベントは春、夏、秋に各一回行った。

CTVCでは、イベントにボラパックとしてボランティアを派遣。また、2012年9月からは、白河担当のスタッフ3名が第1週から3週にかけて交代で白河に赴き、傾聴活動に参加している。

現在、中田仮設住宅に留まっている入居者は120世帯中13世帯、28人に減少。郭内仮設住宅は全戸120世帯のうち47世帯、74名が入居。（世帯数は2015年2月27日現在）

白河市でも復興住宅の建設が進み、2016年3月までに入居可能になる。

【傾聴活動】

第1～第3火曜日午後3時頃から約1時間、各戸訪問を続けている。

メンバーは5名。

継続は力なりの通り、定期的な訪問活動は中田、郭内仮設住宅入居者の評価が高い。

2013年下期から第4火曜日を研修日にあてている。

CTVCからも第1週から第3週については担当スタッフが交代で傾聴活動に参加している。

<ボラパック>

ボラパック開催回数：3回

ボランティア総数：74名（現地ボラ34名、CTVC40名）

参加者（受益者）総数：538名

・ **第10回ボラパック（お花見）**

日時：2014年4月21日～22日

場所：小峰城址公園

参加者数：78名（中田・郭内2仮設合同）

ボランティア人数：現地ボラ12名、CTVCボラ24名

- ・ **第11回ボラパック（芋煮会）**

日時：2014年10月27日～28日

場所：知足庵

参加者数：22名（中田・郭内2仮設合同）

ボランティア人数：現地ボラ10名、CTVCボラ7名

- ・ **第12回ボラパック（農協祭）**

日時：2014年11月1日～2日

場所：JAしらかわ

参加者数：438名 ※双葉の黄色だるまを438個を全て配り終えた。

ボランティア人数：現地ボラ12名、CTVCボラ9名

(4) 福島県南相馬市

2011年12月より南相馬市原町区にあるカトリック原町教会を拠点に現地の調査活動を開始した。2012年6月にボランティアが宿泊できるカリタス原町ベースを開所。以降活動を継続している。

南相馬市では2014年4月現在、小中学校の在籍数は3,463人(64%)である。保育園・幼稚園の在籍率は43%と、さらに低下している。避難指示解除準備区域内の小高区にある学校は、仮設校舎を小高区以外の場所に建て、仮設校舎の学校に入学して卒業していった生徒達もいる。

市内の企業・サービス業・介護職など、深刻な人手不足の状況が続いている。従業員の募集をかけても人が集まらず、その分、負担が少ない従業員にのしかかる歪みが出ている。

2015年3月現在でも、南相馬市では約4,000世帯の方々が仮設住宅や借り上げ住宅で暮らしている。震災前の人口約72,000人うち、約20,000人が市内外での避難生活を強いられている。

放射能の影響を心配する若い世代の多くが現在でも市外に避難しており、市内の仮設住宅の住民の多くは高齢者である。その多くを小高区（避難指示解除準備区域及び居住制限区域）の被災者が占めている。

東京電力福島第一原子力発電所（以降、福島第一原発という）を挟んで、南相馬～いわき間が不通だった国道6号線が、2014年9月15日、自動車のみ通行可能となった。また、2015年3月1日、常磐道が全線開通となり、震災以来遮断されていた浜通りの主要幹線道路の2本が南北の通行を可能にした。土やフレコンバッグを運ぶ大型トラックの往来が増え、復旧復興への加速が期待された。国道6号線沿いの南相馬～大熊町間の線量計は、 $0.2\mu\text{Sv/h}$ ～ $4.0\mu\text{Sv/h}$ と上昇していく。

南相馬市は2016年4月をめどに除染作業を終了させ、区域指定を解除するとしているが、除染計画は大幅に遅れている。今年は福島第一原発から20km圏内の水田でも実証田としての米の作付けが行われた。全域的にモニタリング調査も実施されているが、環境省は貯水に遮蔽効果があるとして農業用ダムやため池を除染対象として認めていない。

仮設住宅住民の多くが将来の計画を立てられずにいる。また、長年放置された家を修理や建て直す建築業者の不足も地元への帰還の大きな阻害要因となっている。2016年4月に指定区域が解除されてもすぐに我が家に帰れる人は限られている。

<活動>

南相馬市民の全員は、地震・津波・原発事故の影響で、一時は屋内待機や市外・県外へ避難された被災者である。南相馬市にある仮設住宅 32 か所のうち、福島第一原発から 30 km圏外の鹿島区には、仮設住宅が 27 か所建てられている。そして南相馬市中央部にあたる原町区には、避難解除後の 2012 年に 5 か所建設された。

カリタス原町ベースは南相馬市原町区にあり、北にある鹿島区の仮設住宅集会所でのサロン活動と南にある小高区の避難解除準備区域にある家々からの依頼を受けた屋外活動を中心に行っている。サロン活動は主に、交流会、音楽会、講演会などのイベントの提供・協力・支援をしている。屋外活動は主に、家財道具の片づけ、庭の手入れ、田畑の草刈り等をしている。基本的には、南相馬市社会福祉協議会のボランティアセンターを通して紹介された場所で活動した。

また沿岸部の被災地案内も重要な活動と位置づけ今年度も引き続き行った。国道 6 号線も開通したことからいわき市までの道のりを案内するケースも増えてきた。

2014 年 6 月 1 日、近隣の方々や仮設住宅の住民をお招きし、原町ベース開所 2 周年記念感謝イベントを行った。地元民謡同好会の方々の歌や器楽演奏、盆踊りなどの出し物が出た。約 200 名の方々にご参加いただいた。

CTVC の活動地域の宮城県南部と福島県全域の中にあるベースとして、その範囲での活動にも必要に応じて、協働した。福島・宮代ボラパック「ふれあい茶の湯」には原町ベースからも参加し、希望者には原町まで案内を行った。宮城県南部の亙理ボラパックでは、原町ベーススタッフやボランティアが参加協力をした。

和みサロン「真こころ」とのつながりも 4 年目になり、運営支援を続けた。

ベースの利用者は延べ約 4,000 名。常時 10 人程度のボランティアが滞在した。

<ボランティア活動>

【昨年度から継続して行った活動】

屋外活動

南相馬市社会福祉協議会（以降、社協）を通して依頼される活動を続けた。

活動場所：南相馬市小高区内—「避難指示解除準備区域及び居住制限区域」

活動内容：家財道具整理や処分や草刈りと樹木の剪定

屋内活動

仮設住宅集会所でのボランティア活動

活動場所：社協から紹介された場所、和みサロン「真こころ」

活動内容：手芸・パッチワーク、足湯、交流会、講話、演奏会等の準備・企画・実施

月 1 回、火曜日 やさい配布（二本松と連携） 仮設住宅各戸 （毎週 180 戸）

月 1 回、足湯、パッチワーク

刃物研ぎ

ベース内の活動支援（それぞれ、月 2 回）

活動内容：とまとサロン、卓球、大正琴他の活動協力

被災地視察案内

被災地の視察を希望された方や初めてこの地を訪れるボランティアの方々被災地を案内し

た。

案内場所：国道 6 号線沿岸部、浪江町、南相馬市、希望の牧場他

地元の方の講演の調整や各地での活動報告

【今年度の新しい活動】

巡回ボランティア

社協から支援要請があり協力。社協スタッフと共にベーススタッフが同行して、主に独居の仮設住宅住民宅を訪問し安否確認を行う。

実施期間：2014 年 7 月～2015 年 3 月。当初週 1 回であったが、社協からの要請により毎土日に行った。

対象仮設住宅：南相馬市内全域

見守りボランティア

さゆり幼稚園から支援要請があり協力。働く母親支援として、主に放課後から夕方、仕事帰りのお迎えの時間までの延長保育時間の見守り活動。

実施期間：2015 年 1 月から試行。春休み中は終日行った。

借り上げサロン

借り上げ住宅に住む住民に向けたサロン活動を実施した。社協が行うサロン活動と連携したほか、ベース主催によるサロン活動も行った。

社協サロンと連携：月 2 回水曜日の午後 2 時～4 時

主催したサロン：2014 年 12 月 24 日 さゆり幼稚園の園児による聖劇を披露

2015 年 3 月 11 日 アートセラピー

参加人数（毎回）：約 40 人

カリタスサロン

原町ベース主催のサロンとして開催。主にベース近隣の高見仮設住宅の方々を対象とし、月 1 回ミニコンサート、お茶とお菓子の提供を行った。また、小高商業高校吹奏楽部とのジョイントコンサートも行った（2015 年 3 月）。

震災以前より実施している「とまとサロン」と内容が重複するため、2014 年度で終了し「とまとサロン」の活動支援に切り替えた。

開催日：2014 年 11 月 5 日、12 月 3 日、18 日、2015 年 3 月 26 日

【特別イベント】

花植え

実施日：2014 年 4 月 14 日（月）

活動場所：小高区 浮舟文化会館

活動人数：3 人

活動内容：浮舟文化会館西側側道路地にパンジーなど植栽

開所 2 周年記念感謝デー 特別イベント

実施日：2014 年 6 月 1 日（日）

参加者：約 200 名

活動内容：足湯、食べ物、持ち帰りコーナー、歌と演奏

「野馬追祭」ボランティア参加

実施日：2014年7月26日（金）～28日（月）

活動場所：南相馬市小高区～原町区

活動人数：約10名

活動内容：行列に参加

花いっぱいキャンペーン

実施日：2014年10月11日（土）

活動場所：仮設住宅2か所

参加人数：各約20名

「命の行進」参加

実施日：2015年3月9日（月）～10日（火） 参加人数：約20名

活動場所：小高区同慶寺～浪江町請戸港

追悼の祈り

実施日：2015年3月10日（水） 参加人数：約40名

活動場所：同慶寺（南相馬市小高区）

亘理町・山元町 追悼行事参加

実施日：2015年3月11日（木） 参加人数（2か所合わせて）：約70名

活動内容：シスターたちによるラテン語聖歌の奉納等

南相馬市鎮魂復興市民植樹祭

実施日：2015年3月29日（日） 参加人数：8名

活動場所：南相馬市原町区萱浜

【研修会】

日本女子修道会総長管区長会（生涯養成委員会）福島・いのちの旅

実施日：2014年6月16日（月）～18日（水）

参加人数：16名（修道女）

内容：①講話：福島市松木町教会 鈴木キミ子氏

カトリック原町教会主任司祭 狩浦正義師

南相馬市寺内第一応急仮設住宅集会所 松野美紀子氏

南相馬市小高区同慶寺 田中徳雲住職

南相馬市在住、クリーニング会社社長、さゆり幼稚園卒業生 高橋美加子氏

カトリック原町教会 信徒会長 高野郁子氏

②やさい配り 寺内第一応急仮設住宅（81戸）、角川原応急仮設住宅（76戸）

③被災地案内

名古屋教区社会福祉委員会

実施：2014年6月18日（水）～19日（木） 参加人数：20名

神戸・こころの架け橋ツアー

実施日：2014年6月19日（金）～20日（土） 参加人数：9名

第四回東日本大震災仙台教区復興支援全国担当者会議

実施日：2014年6月24日（火）～26日（水） 活動人数：30人

- 内容：①講演会：相馬高校「今伝えたいこと」 渡部義弘氏
②交流会：同慶寺 田中徳雲住職、眞こころサロン 松野美紀子氏、
番場塾 番場さち子氏他
③被災地案内

東星学園高校生研修会

実施日：2014年7月29日（火）～31日（木） 参加人数：16名

広島学院高校生ボランティア研修

実施日：2014年8月1日（金）～28日（木） 参加人数：20名

司教研修会

実施日：2014年12月17日（水） 参加人数：20名

【被災地案内等】

聖霊会シスター

実施日：2014年9月19日（金）～21日（日） 参加人数：12名

聖心会シスター

実施日：2014年9月20日（土）～21日（日） 参加人数：8名

聖母訪問会シスター

実施日：2014年10月22日（水）～23日（木） 参加人数：9名

カトリック赤堤教会

実施日：2014年11月1日（土）～2日（日） 参加人数：10名

カトリック芦屋教会

実施日：2014年11月10日（月）～11日（火） 参加人数：11名

長崎教区司祭・修道女

実施日：2014年12月14日（日）～15日（火） 参加人数：7名

<活動報告・会議>

各地からの依頼に応え活動報告、広報活動を行った。

東京・四谷コイノニアグループ

開催日：2014年5月28日（水） 参加人数：10名

東京・聖心専門学校

開催日：2014年6月13日（金） 参加人数：150名

東京・目黒星美学園

開催日：2014年6月19日（木） 参加人数：約150名

仙台・聖心女子大OG東北支部会

開催日：2014年7月5日（土） 参加人数：約30名

東京・四谷 日本女子修道女会総長会研修会

開催日：2014年7月13日（日） 参加人数：約20名

広島・光の園 摂理の家

開催日：2014年8月4日（月） 参加人数：約30名

広島・平和行事・分科会

開催日：2014年8月5日（火） 参加人数：約50名

長崎・日本女子修道会総長研修会

開催日：2014年9月20日（土） 参加人数：約80名

カトリック西千葉教会

開催日：2014年10月4日（土） 参加人数：約30名

名古屋・聖霊病院

開催日：2014年10月21日（火） 参加人数：約30名

晃華学園高等学校

開催日：2014年11月1日（土） 参加人数：170名

聖心女子大学

開催日：2014年12月5日（金） 参加人数：約280名

カトリック清瀬教会

開催日：2015年2月8日（日）2回 参加人数：約80名（計）

八代白百合学園高等学校（熊本）

修学旅行中に「福島こらっせ」にて開催

開催日：2015年3月3日（火） 参加人数：約130名

千葉・ガリラヤ学習センター

開催日：2015年3月14日（土） 参加人数：約40名

毎週水曜日にベーススタッフミーティングを開催。また次のとおり CTVC スタッフ及び関係機関が参加する原町会議を開催した。

第8回原町会議 開催日：2014年6月2日（月）

第9回原町会議 開催日：2014年12月19日（金）

<物資支援>

全国各地の支援団体や個人から届く支援物資を内容や個数を確認し、仮設住宅住民や借り上げ住宅住民に配布した。また端切れなどは手芸を行っている仮設住宅集会所に手芸材料として提供した。

配布した物資：お菓子類、食器

配布の機会：やさい配り、カリタスサロン、サロン支援

<その他>

諸機関との連携・協働

南相馬市で活動する諸機関と協働し活動を展開したほか、連携を図った。

- ・和みサロン「真こころ」－ 仮設集会所 3か所
- ・自立研修施設「えんどう豆」の活動を支援
- ・癒しのサロン－小高区からの避難者への支援 － 仮設集会所 4か所
同慶寺（小高区）

原町社会福祉協議会－借り上げサロンの支援

原町社会福祉協議会－生活指導員と協力の支援 安否確認

小高社会福祉協議会－小高区内の屋外活動

<資料> ボランティア数の推移と受益者数の推移 (カッコ内数字は実数)

2014年	4月～6月 (360)人		7月～9月 (341)人	
活動項目	受益者数	ボランティア数	受益者数	ボランティア数
社協仮設サロン (人)	70	29	182	34
真こころサロン (人)	321	163	435	191
社協屋外活動 (件)	107	234	147	368
NPOボラセン (件)	70	79	89	134
やさい配り (戸)	791	51	373	24
被災地案内 (人)	194	72	200	51
足湯 (人)	119	26	146	35
その他 (人)	1,043	442	1,966	426
合計	2,715	1,096	3,538	1,263

2014年～2015年	10月～12月 (350)人		1月～3月 (229)人	
活動項目	受益者数	ボランティア数	受益者数	ボランティア数
社協仮設サロン (人)	236	25	237	34
真こころサロン (人)	249	73	132	75
社協屋外活動 (件)	82	292	60	202
NPOボラセン (件)	57	123	44	113
やさい配り (戸)	313	18	429	26
被災地案内 (人)	223	50	60	39
(新)幼稚園 (人)	0	0	185	81
足湯 (人)	221	58	79	41
(新)社協巡回 (人)	480	16	1,559	50
(新)カリタスサロン (人)	0	0	55	14
その他 (人)	1,678	300	706	218
合計	3,539	955	3,546	893

(5) 福島県会津若松市

2012年5月より有志を募り支援活動を行ってきたカトリック会津若松教会の社会福祉部とともに、県内自主避難家族の主に母親と子どもたちの支援を継続した。

CTVCでは生活用品(消耗品、乳幼児用品等)の支援を首都圏の支援者をつなぎ、継続的な支援を実施した。教会敷地内の施設を開放、支援物資の拠点とし、会津若松市近郊に点在するお母さん達の交流の場となるよう活動を実施。CTVCからスタッフが現地に赴き、定期的に会津若松教会にて、避難母子と支援グループによる情報共有と打ち合わせを実施した。

長期化する避難生活の中で、避難先の地域住民である会津若松教会のメンバーとの親しい交流を図るため、また傾聴とニーズの聞き取りのチャンスを増やすため、地元の料理やお菓子を一緒につくる集いを開催した。

しかし、連携を続けてきた「県内自主避難連絡会」が会の役目を終えたとの判断により10月に解散したため、CTVCが首都圏の支援者となぎ行ってきた物資支援は一旦区切りをつけることとなった

会津若松教会社会福祉部としては、解散後も自主避難者が気軽に立ち寄れる場を提供するため、2か月に一度お茶飲み会を計画し、交流を続けた。

① 教会での集い

- ・ 2014年5月20日 お母さんを対象とした福島郷土料理「菱巻き作り」

② 福祉部との会合

- ・ 2014年9月22日および2015年1月8日

(6) 福島全般

① 福島県の現状を知るための視察ツアーの企画に協力し、実施した。

- ・ 2014年10月21日～23日 聖母訪問会 福島視察
- ・ 2014年6月16日～18日 社会司教委員会
- ・ 2014年12月16日～18日 司教のための社会問題研修会

(7) 山形県米沢市

2014年5月に福島県内から米沢市の牛森雇用促進住宅団地などに、主に自主避難しているメンバーで構成された「ハート・ウェッジ福島」の代表である湯野川政弘氏より支援の申し出があり、カトリック米沢教会の司祭、教会委員長とCTVCスタッフによる面談を行い支援を開始した。

主な活動は、子どもが思いきり遊べて、メンバー同士の交流になるイベントの企画実施と物資支援である。物資支援は全国の修道会や個人などからや、カトリック米沢教会が近隣教会である長井教会や山形教会に働きかけ物資を募るなど継続的な支援が行われている。また、9月には米沢教会のバザーに自主避難者の方々を優先的に招きするなど、避難先での人的交流を促した。

① イベント

2014年10月25日 芋煮大会 会場：長井市古代の丘

(参加者29名、現地ボランティア6名、CTVCスタッフ3名)

② ハートウェッジ、米沢教会、CTVCによる会合

2014年5月21日、8月7日、9月18日、10月22日

2015年1月8日、3月5日

3. 広報

2011年6月より発行してきた「CTVC ニュース」を「かわらばん！」として継続し月1回発行した。前年度に引き続き月間レポートを関係諸団体に向けメール配信し、東京教区ニュースにCTVC連載記事を掲載した。

CTVCパンフレット（2013年度活動報告）を作成し頒布した。

4. 報告会・連絡会

東京教区内で支援活動を行っている小教区、修道会、グループの情報共有と連携を深めるため連絡会を2回行った。また福島の実情を伝えるシリーズ「福島から語る」講演会を4回、「被災地から語る」（宮城県亘理町・山元町）を2回実施した。ボランティア報告会や活動説明会、バザーへの出展など、支援活動への協力と活動の周知を図った。

5. 会議・スタッフミーティング

(1) 運営委員会

毎月1回、計12回運営委員会を実施した。

(2) スタッフミーティング

CTVC、スタッフによるミーティングを月に1回程度行い、活動の報告と今後の活動についての調整、打ち合わせを行った。

(3) 福島ブロック会議

福島県内で活動しているカトリック教会、グループ間で情報共有し、連携を深めていくために福島ブロック会議を3回実施した。なお、2013年1月以降は、2012年12月に開設された仙台教区サポートセンター福島デスクが主催となって実施。CTVCはそのサポートを行った。

(4) 原町会議

2012年に立ち上げたカリタス原町ベースの活動についてCTVC全体で話し合う原町会議を2回実施した。また同じく原町で活動を行うカトリック系コミュニティとの連携・情報共有の場もなった。

(5) 外部会議

福島県、宮城県南部で活動する他団体との連携のため、カリタスベース関係及び外部団体主催の会議に5回出席した。

(6) 全国担当者会議

2014年6月24日～26日に行われた第4回東日本大震災仙台教区復興支援全国担当者会議において福島県北地域の視察プログラムを担当。全国から17名の担当者が参加した。最終日のシンポジウムは福島県郡山市の郡山教会で開催され、「福島に生きる思い」として、福島で支援活動を行っている8小教区のグループ代表者による被災者としての想いと、支援活動している気持ちを分かち合い、その後、担当者が視察コースごとに分かれ、今後の具体的な取り組みについて話し合い、ミサで発表し奉納した。

(7) 原町コミュニティセンター構想

南相馬市においてベース活動を発展させ、地域の人々とともに地域の活性化のための拠点を
つくるために、仙台教区やカリタスジャパンなど関係者との会合や現場での聴き取りや会合を5
回行った。

■活動収支報告 2014年度

(2014年4月～2015年3月)

収 入	(単位:千円)
カリタスジャパン援助金	40,014
一般献金・寄付	9,859
合計	49,873

支 出	(単位:千円)
プロジェクト直接費用	
被災者支援	5,958
原町ベース運営	20,413
物資支援	0
長期ボランティア派遣	0
アドボカシー	171
連携	0
プロジェクト間接費用	
プロジェクト車両費、事務 費(通信費、事務機器、文 具、人件費など)	6,827
合計	33,369